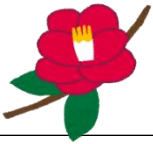


鹿行教育事務所だより 第11号

令和7年2月14日(金)



QRコードから鹿行教育事務所のホームページが見られます。

電話 0291-33-6134 FAX 0291-33-2447 E-mail rokuyo@pref.ibaraki.lg.jp



令和6年度 リーダーシップ【研究主任等】研修(1/31)

本年度から開催しているリーダーシップ【研究主任等】研修の第2回を実施しました。鹿行教育事務所管内の小中学校と各市教育委員会、鹿行教育事務所をオンラインでつないで、実践発表においては、鹿嶋市立鉢形小学校横田拓也教諭、潮来市立潮来第二中学校茂手木正也教諭が、本年度取り組んできた校内研究の成果と課題に加え、校内研究を進める上でのミドルリーダーとしての関わり方をお話してくださいました。グループ協議では、各校の今年度の校内研究の取組をまとめた「ネクストプラン」をもとに成果と課題、今後の対応案等について話し合いました。他校の取組を参考にし、課題を整理して次年度につなげようとする熱心に協議する姿が見られました。校内研究のRPDCAサイクルを確立するうえで重要な学びの機会となりました。

【研修内容】
 開会行事 学校教育課長挨拶
 実践発表 「県事業と校内研究」
 協議 「次年度へ向けてこの後どのように取り組んでいったらよいか」
 ※ネクストプランを用いた各校の発表と協議
 閉会行事

事後のアンケートより(抽出)

- ・校内研修を発表・共有する場面をいただいたことにより、研究の整理をすることができたり、次年度の研修に向けた手がかりを得たりすることができた。
- ・本研修では、他校の先生方と情報を交換することで、具体的な手段を知ることができた。またそれ以上に、先生方の熱意に触れることで、自分自身の意欲の向上につながった。
- ・同じ立場の先生方と関わる機会は普段ないが、各校の取組や研究主任としての思いや悩みに触れることができたのは大きい。この研修を通じた繋がりを大切にしていきたい。



【画面：オンラインでの協議の様子】

令和6年度 教育論文

本年度、鹿行管内小中学校教育論文応募状況は16点(昨年度9点)あり、昨年度より大幅に増加いたしました。日頃の先生方の教育実践が実を結び、3名の方が優良賞を受賞しました。おめでとうございます。

日頃の教育実践を論文としてまとめることは、大変有意義と捉えています。教育論文は、教育実践の成果を広めていく大変有効な役割もあります。教育論文の内容について校内や教職員の研修等に役立てていただきたいと思ひます。

優良賞

	研究分野	学校名	氏名
茨城県教育研究会	学校健康教育	鹿嶋市立中野西小学校	養護教諭 小島 香里 先生
教育弘済会	キャリア教育	神栖市立大野原西小学校	教諭 大内 靖彦 先生
	社会	神栖市立神栖第四中学校	教諭 今泉 貴吉 先生

第12回いばらきっ子郷土検定県大会

2月1日(土)、県内の中学校2年生を対象としたいばらきっ子郷土検定県大会が開催され、鹿行管内からは鹿嶋市立鹿野中学校・潮来市立日の出中学校・神栖市立神栖第四中学校・行方市立北浦中学校・銚田市立旭中学校が出場しました。

今まで練習してきたことを発揮しようとチームで協力しながら、頑張っていました。



【鹿野中学校】



【日の出中学校】



【神栖第四中学校】



【北浦中学校】



【旭中学校】



幼保小連携

○「幼保小の架け橋プログラム」推進の視点

- ①接続カリキュラムの編成・実施
- ②幼保小が相互理解を深める体制づくり
- ③接続カリキュラム(入学前後)やアプローチカリキュラム(幼保)とスタートカリキュラム(小)のそれぞれ作成したものを2年間つなげ、両者が作成の段階から2年間を見通して協働作成 ~文部科学省 HP~

○鹿行管内5市の保幼小接続の状況

「令和6年度保幼小の連携・接続の現状に関する調査」において、令和7年度までに県全体で「ステップ4」を目指す中で、「ステップ3」(授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した教育課程(カリキュラム)の編成・実施が行われている)が3市、「ステップ4」(接続を見通して編成・実施された教育課程(カリキュラム)について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている)が2市となっています。

接続・アプローチ・スタートカリキュラムは全5市、作成が完了している状況です。